

# 労働力調査

雇用対策や経済政策などの基礎資料を得るための重要な調査です。  
みなさまのご協力をお願いします。



## どんな調査ですか？

我が国における就業・不就業の実態を把握する調査です。

15歳以上の方の就業状態（おもに仕事、家事のかたわら仕事、仕事を探していた……といった区分）、就いている職業、産業、就業時間、転職希望の意識などの事項を調査します。

これにより、就業者・失業者の増減の状況、失業率、就業形態の動向などがわかります。

昭和21年にスタート後、50年以上続いており、特に最近の雇用情勢の悪化を受けて、雇用対策や経済政策立案上で基礎資料として役立っています。



## どのようにして調査しているのです

### ■ 調査の対象者

全国で約4万世帯、福岡県では約1,500世帯にご協力いただいています。これにより調査対象となる15歳以上の世帯員の方は、全国で約10万人、県内で約3,200人になります。

世帯の抽出にあたっては、国勢調査の約88万ある調査区から約2,800（福岡県で約100）を選定し、その調査区内から世帯を抽出します。

また、前月や前年との比較の精度を高めるため、1調査区では4か月間、1世帯に2か月間続けて調査をお願いし、1年後の同じ期間に、同じ調査区・同じ世帯に再度調査をお願いする方法がとられています。

### ■ 調査の時期

毎月、月末1週間の状況を調査します。

### ■ 調査の流れ

知事が任命した調査員が、調査をお願いする世帯を訪問して調査票を配付します。 ➡ 調査期間終了後、調査員が再び訪問して調査票を取集します。 ➡ 調査票は、調査員から県へ、さらに独立行政法人統計センターへ提出され、集計後、総務省が調査結果を公表します。

調査票に記入いただいた内容は、統計をとるためにだけ使われ、個人情報保護は法で定められるなど十分に注意が払われています。





## 結果はどのようなかたちで公表されるのですか？

**総務省**では、全国、地域別（九州など10地域）、都道府県別の結果が公表されています。

全国結果・・・・・・・・・月 四半期、年、年度ごとの集計が公表されます。

地域別結果・・・・・・・・・四半期、年ごとの集計が公表されます。

月々の調査結果は、調査月の翌月末に速報として公表され、翌々月に報告書（月報）が出されます。四半期や年・年度平均も、その期間の翌月には速報が出されます。年報は翌年の3月に刊行されます。

都道府県別結果・・・平成14年3月から公表を始め、15年2月には14年平均（試算値）、16年2月には15年平均（試算値）が公表されています。

**福岡県**では、四半期ごとの本県分の集計結果を平成13年1～3月期分から公表しています。

### 公表結果もホームページで

国の公表結果は、総務省統計局のホームページで見ることができます。

 <http://www.stat.go.jp/>

県の公表結果は、当ホームページで見ることができます。

 トップページ > 分野 > 「はたらく」の分野の「労働力調査」

また、県庁調査統計課の資料室で、これらの報告書や、国や県の各種統計資料を閲覧することができます。



## 最近のデータをおしえてください

平成16年4～6月期の福岡県のデータを紹介します。

 詳細及び全国・九州のデータは、当ホームページ及び総務省統計局のホームページをご覧ください。

15歳以上人口 4,346 千人	労働力人口 2,572 千人	就業者	2,403 千人
		完全失業者	170 千人（前年同期比較 16千人）
	完全失業率	6.2 %（前期比較 0.1ポイント低下） (季節等調整値)	
	非労働力人口 1,773 千人		

数値は千人単位に四捨五入していますので、内訳の合計は必ずしも総数に一致しません。

就業者・・・調査期間中に収入を伴う仕事を1時間以上した人（仕事に就いているが休業中の人を含む）。

完全失業者・・・仕事がなく調査期間中に少しも仕事をしなかった 仕事があればすぐに就くことができる 調査期間中に仕事探しや事業を始める準備をしていた の3条件を満たす人。



非労働力人口・・・15歳以上で上記以外の人（学生、高齢者など）

完全失業率・・・労働力人口（就業者+完全失業者）に占める完全失業者の割合